

# 東京

## 「其の日」暮らし



東京の商店街には「銀座」という名前の付く所がたくさんあります。我が家の近くにも、谷中銀座商店街と田端銀座商店街があります。辞書には、銀座は人でにぎわう所を形容するのに使う、とあります。大阪の 筋商店街、心齋橋筋商店街や天神橋筋商店街という響きに慣れ親しんだ私にとって、 銀座商店街という響きは、「違う土地にやってきたあー」という実感、体感、「ここ、東京なんやあ〜」そのものでした。

なじみ深い、懐かしい、大阪心齋橋筋商店街とただ今お世話になっている谷中銀座商店街とは、同じ観光地でも全くの別物です。スゴイツ、ホンマに。本当に、感動しました。オモロイナアツて。谷中銀座は谷根千（谷中・根津・千駄木地区の略）と呼ばれる東京下町の面影を残す観光スポットなのですが・・・平日はスーパーや、豆腐屋、八百屋、魚屋、本屋があつて、おばあちゃんやベビーカーを押したお母さん達がのんびり買い物をする普通の商店街。そこが土曜・日曜になると観光地に早変わりします。地図を持った人や、人力車に乗った人、ガイドと一緒に歩く外国人観光客。いろんな人が集まって、とても賑やかになります。大阪からひよっこり出てきた私は、ある時は一般の買い物客、ある時は、東京暮らし二年目の今も、楽しく観光客をやっています。

私の「銀座」のイメージは、おしゃれをした大人達が散策する街・・・明らかに、昔読んだマンガの影響ですが。東京に住み始めた時には、銀座をブラブラする、いわゆる「銀ブラ」が東京タワーに上るよりも東京を満喫することだと本気で思っていました。

そうして念願の「銀ブラ」デビューをした時のこと・・・この続きは・・・八月に。

PUKIPUKI・N



せんば心齋橋筋商店街



谷中銀座商店街

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞